

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立鶴町小学校

児童数

38

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.13	21.06	35.71	41.76	43.67	9.72	133.38	24.13	55.40
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	17.07	20.21	41.20	38.73	35.00	9.84	134.15	12.64	54.55
大阪市	15.40	18.33	37.58	38.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男女ともに、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳びにおいて全国平均を超えており、逆に、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びは、全国平均、大阪市平均より低い。ソフトボール投げについては、男子は全国平均を上回り、女子は全国平均、大阪市平均を下回っている。体力合計点については、男女ともに全国平均を上回っている。

児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか」に肯定的に回答した児童は男子93.8%（全国平均93.4%、大阪市平均93.5%）、女子83.3%（全国平均85.8%、大阪市平均85.0%）であった。男子は肯定的な回答した中でも「好き」の割合が87.5%と非常に高く、逆に女子は50.0%とやや低かった。

また、1週間の総運動時間が60分未満の児童は男子6.7%、女子33.3%であり、逆に420分を超える児童は男子が73.3%、女子は13.3%であった。学校の授業や取り組み、休み時間に運動する児童も多い。また、地域の運動クラブ等に参加している児童も多く、それらが今回の結果につながっていると思われる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

各学年、体育の授業において、子どもたちの運動量が増えるように、工夫をして取り組んできた。

また、学校全体の取り組みとして、1学期に「運動チャレンジ」、2学期に「なわとびチャレンジ」、3学期に「かけあしチャレンジ」を行っている。

「運動チャレンジ」では、遊具や道具を使って体を動かすことに焦点を当て、運動の習慣を意識づけた。なわとびチャレンジでは、昨年度の記録を更新することを目指し、休み時間に自主的に練習するなど、意欲的に取り組んでいる姿が見られた。かけあしチャレンジにおいても、同じペースで運動を続けられるように意識して取り組んでいた。

それぞれの取り組みが、結果につながっているように感じられるが、種目による結果の偏りも大きい。今後、様々な動きをバランスよく伸ばしていくような取り組みを考え、実施していくたい。